

松山踊り (地踊り)



踊り方を動画
でチェック

けいあん
慶安元(1648)年に備中松山藩主
みずのやかつたか 水谷勝隆が五穀豊穡と町家繁栄を
祈って、八幡神社の秋祭りとして始
めたといわれています。

おおすぎ みつる
指南役：大杉 充さん(踊りフレンズ・松山ちるどれん)



①両腕を交差させ、同時に
右足を前へ振り出す



②右足を後ろへ引きつつ、
両手を左右に広げる



③左足を少し上げて、下ろし
ながら胸の前で手拍子を打つ

目線は前方に出した
手の中指の爪へ！



④右足を前に出しながら、
右手のひらを前に向け、
左手のひらは顔に向ける



⑤左足を前に出しながら、
左手のひらを前に向け、
右手のひらは顔に向ける



⑥右足を前に出しながら、
右手のひらを前に向け、
左手のひらは顔に向ける



⑦手を軽く握り、右・左の
順に前に出す。右手を前に
出す際に、左足を前に出す

太鼓を叩くイメージで！



⑧ ①の動きをした後、右足
を後ろへ引きつつ、両手を
左右に広げる



⑨左足を少し上げて、下ろし
ながら胸の前で手拍子を打つ
(④に戻る)

みんなで踊ろう！ 松山踊り

375年の歴史と伝統を持つ松山踊りは、「松山踊り(地踊り)」、
「仕組踊り」、「ヤトサ踊り」の3種類で構成されており、今回は
松山踊り(地踊り)とヤトサ踊りの踊り方を紹介します。3年ぶ
りの祭りへ向けて、踊り方を予習・復習しましょう！

ヤトサ踊り



踊り方を動画
でチェック

かつては「成羽踊り」、または「竹 莊
踊り」といわれ、旧川上・上房郡内で伝
わっていた踊り。平易な旋律や軽快なリ
ズムで人気が高まり、昭和初期以降に新
たに高梁の城下で踊られるようになった
とされています。

ひがし よしえ
指南役：東 宜栄さん(踊りフレンズ)



①左足から前に3歩歩く。
手は軽く握り、腕はできる
だけ振らないようにする



②4歩目の右足を前に軽く振り上
げ、両手を交差させる。右足を後
ろに引きつつ、両手を左右に開く



③手を軽く握り、
右・左・右・左の順
に前に出す

バチで太鼓を叩く
イメージで！



④体を右側に向け、
体の正面で手拍子を
2回打つ



⑤手を軽く握り、
右・左の順に前に出す

④→⑤に移る時は体の
バネを使って正面を向く！



⑥体を右側に向け、
体の正面で手拍子を
2回打つ(①に戻る)